



行政はスピードだ! 政治は結果だ!



小川一成の県政報告

発行 小川一成
〒302-0125
守谷市高野646-1
TEL.0297-48-1064

守谷大好き、自然大好きの小川一成が皆様の声を県政に届けます。

ロシアのウクライナ軍事侵攻に断固抗議!

ロシアがウクライナに軍事侵攻したことを受け、茨城県議会は2月25日、同日開会した第1回定例会で、「ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議」を全国に先駆け全会一致で決議した。私は提出者の一人として、「ウクライナだけの話でなく、日本にとっても明日はわが身の問題。黙っていることは容認すること。地方議会が声を出していかなければならない」と主張。

3月3日、ウクライナ大使館を訪問し、茨城県議会議員全員から託された『人道的義援金』100万円を、ウクライナ大統領宛に贈呈いたしました。

オレクサンドル公使参事官からは「茨城県議会が全国に先駆けて行った『ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議』にとっても感謝し大変勇気づけられました」とお礼の言葉がありました。

ウクライナ大使館で義援金を受け取っていただいた後、オレクサンドル公使参事官と意見交換をいたしました。

公使は三ヶ月前に着任し戦争という国家の存亡にかかる事態に直面し、日本をはじめ世界の多くの国から激励や支援を受けている事に深く感謝をしていました。



ロシア侵攻に抗議

県議会、全会一致で決議

ロシアがウクライナに軍事侵攻したことを受け、県議会は25日、同日開会した第1回定例会で、議員提案したウクライナへの断固抗議する決議を全会一致で可決した。同決議は全会派の代表議員らが超党派で提出した。決議文では、「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、国際法の平和と安全を脅かすものとして、断じて容認することできない」とし、政府に対しては「在留邦人の安全確保や国際社会と連携したロシアへの制裁措置などを求める」と述べた。

「断じて容認できぬ暴挙」

提出者の一人である最大会派の成議員は、「ウクライナだけの話でなく、日本にとっても明日はわが身の問題だ。黙っていることは容認すること。地方議会が声を出していかなければならない」と話した。

伊沢勝徳議長は、「ロシアの侵攻は極めて残念。議員から抗議するべきだ」と話した。

R4.2.26 茨城新聞より

駐日ウクライナ特命全権大使 茨城県議会で講演



令和4年3月16日ウクライナ大使講演会を茨城県議会が主催して行いました。

コルスンスキー大使は、茨城県議会が日本で一番早くロシア非難の決議した事に対して感謝した後、「理不尽なロシアの侵略に決して屈しない」と決意を述べました。



講演の後、県議会を代表して私から「ウクライナに一日も早い平和をもたらすために、地方議会の議員である我々に何が出来るか、また日本国にはどういった支援を望むのか」を質問いたしました。

その後、大使を交えて、茨城県議会議員全員で『私たちはウクライナと共にある』とのメッセージを送りました。



控え室でコルスンスキー大使に「一日も早い平和」を願って千羽ツルを贈りました。この千羽ツルは守谷市の方から託されたものです。

議会改革推進会議座長として、日曜議会の実現!



議会改革推進会議では「議会基本条例」の見直しや議会審議等の充実、ICT化の推進、会期のあり方、県議選投票率向上への取り組みなど、多岐にわたり議論してきました。その中で特に「日曜日の議会開催」については直ちに導入を決め、令和3年11月28日の日曜日に実施いたしました。

この会議を通じて私は「議会が県民に身近な存在として、変わらずに在り続けるためには、社会の変化に応じ、自らが変わらなければならないことを、我々議員一同は深く認識すべきである」と強く感じました。



いばらきダイバーシティ宣言

「いばらきダイバーシティ宣言」に参加して決意表明をいたしました。

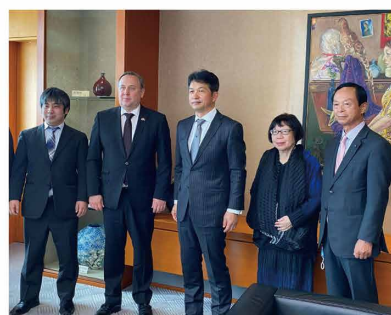
ダイバーシティとは「多様性」のことです。持続可能な地域社会をつくるためには、多様な人材の活用が必要です。年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向等にかかわらず個々の能力を発揮できる社会の実現が求められています。(R.3.7.2)



ベラルーシ共和国特命全権大使来県

1月21日、ルスラン駐日ベラルーシ共和国特命全権大使が大井川知事を表敬訪問いたしました。

茨城県は初めての訪問なので、知事と商工関係者との懇談を希望しており、私は商工会連合会会長として意見交換いたしました。



「茨城県商工青年の主張発表会」開催

「茨城県商工青年の主張発表会」が、つくば国際会議場でおこなわれました。県内6ブロックから選ばれた代表8人が熱弁をふるい、応援団も一丸となって声援を送っていました。久しぶりにエネルギーをもらいました。(R.3.7.14)



地方議員看護体験事業



新型コロナウイルス対応に奮闘する看護現場の生の声を、政策に反映させるために「地方議員看護体験事業」を守谷市議15名の参加を得て守谷慶友病院で行いました。暑い中、防護服を身にまとうと汗が吹き出します。

コロナ病棟を持つ病院の現場で働く看護師の仕事を体験し、課題などを直接聞くことができ、有意義な体験をすることができました。(R.3.7.6)

小川一成のひとりごと

3月12日、朝の我が家の「カワズサクラ」です。

桜の木がピンク色に染まってきました。

ミツバチも来ています。

ウクライナにも早く平和が来てほしいです。

マスクもネクタイもウクライナ色で、エールを送ります。



「守谷みつばち夢プロジェクト」

この指と〜まれ!



令和4年の「守谷みつばち夢プロジェクト」スタートしました。

興味のある方は、事務所48-1064までご連絡下さい。



茨城県議会議員 小川一成

〒302-0125 守谷市高野646-1
TEL.0297-48-1064 E-mail issei@alpha.ocn.ne.jp

小川一成 検索

「小川一成のブログ」
とても面白い!

配信 配信 配信

趣味の養蜂

